

脱原発！どう考える？「母だから」「子どもに障害が……」 に参加して、みなさんと話したいこと

とてももや~っとした思いと忸怩たる気持ちを抱えつつ、みなさんの考えていることを聞き、私も考えていることを話したくて来ました。

いまだ、整理された言葉が見つかりません。

そんな丸腰で恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

原発を止めたい。27年前から思ってきました。当初はこどもだったのですが、いまは大人で母でもある。いろいろな気持ちがひきさかれている。

80年代、「母=生命」が強調される反原発運動には乗れなかった。“女の人には自然だから、いのちをおびやかすものに対して敏感”とかいわれることにも心のシャッターがガラガラガラーっと降りてきてしまう。母になったいまも同じ。それはなぜか？（まだ考え中）

80年代、「母=生命」が強調され、主婦がヒステリックにもりあげた反原発運動だったからダメなんだといういい方への抵抗感と腹立ちがある。

デモや抗議行動で「子どもを守れ！」という怒声や掛け声にあわせて叫べない。けど、子どもを守らなくていいと思っているのではない。だから、出かけていく。「子どもを守れ」「子どもを守る」という言葉が、自分にはおこがましくて堂々といえない。お母さんたちが子どもを放射能から守ろうと立ちあがった、という扱われ方、扱う側に違和感。それはなぜか？（まだ考え中）

放射能によって将来生まれてくる子に障害が出る可能性がある、ということ坦々と理解できないのはなぜか？（まだ考え中）